

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年 9月26日 (水)

### 2 確認箇所

- ・増設多核種除去設備
- ・既設多核種除去設備

### 3 確認項目

- (1) 増設多核種除去設備B系における漏えい事象の対応状況
- (2) 既設多核種除去設備C系における漏えい事象の対応状況

### 4 確認結果の概要

- (1) 増設多核種除去設備B系における漏えい事象の対応状況

平成30年9月8日に増設多核種除去設備B系の前処理設備の一つであるクロスフローフィルタ（以下「CFF」という。）スキッド内のバックパルスポット（CFFの逆洗を行うための装置、以下「BPP」という。）ドレンラインの水を受けるポリタンクから系統水（処理過程の水）が溢水した事象について、前回（平成30年9月12日）に引き続き、対応状況を確認した。

- ・前回確認時は、BPPドレンラインの水を受けるポリタンクが設置されていたが、本日確認時は、当該タンクが撤去されており、溢水防止対策として、BPPから排水サンプルシンクに直接排水させるようホースが敷設されていた。（写真1）



(写真1-1)

BPPドレンホースの敷設状況



(写真1-2)

排水サンプルシンクの状況

(2) 既設多核種除去設備C系における漏えい事象の対応状況

平成30年9月25日に既設多核種除去設備C系のCFF1Cとドレン弁間のラインエルボ部から系統水が漏えいした事象について、応急対策の状況を確認した。

- ・現場確認時、漏えい箇所には、自己融着テープが巻かれており、漏えい拡大防止対策としてビニール養生されていた。(写真2)
- ・東京電力によると、9月27日に当該ドレンラインを取り外し、閉止栓を取り付け復旧させるとともに、材質を変更したドレンラインを今年度中に取り付けるとのことであった。



(写真2)

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。